

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年12月16日～2017年12月22日の推移】

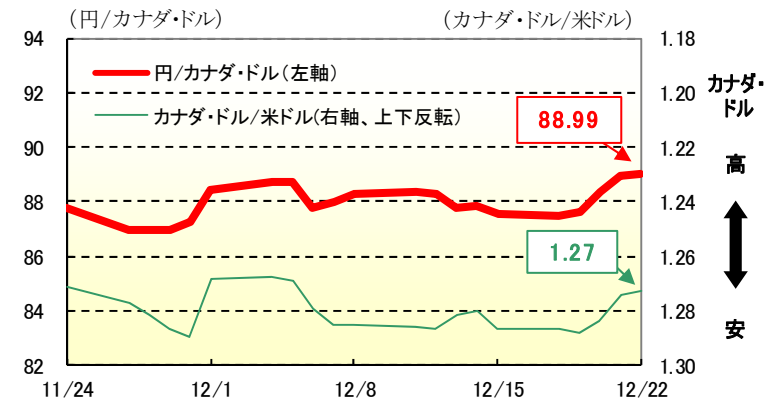
【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円やカナダ5年国債利回りは上昇しました。

先週は、カナダでCPI(消費者物価指数)や小売売上高が発表され、予想を上回る伸び率となったことを背景に市場の追加利上げ期待が高まり、金利やカナダ・ドル円の上昇圧力が高まりました。

また、米国で税制改革法案が成立したことで市場のリスク選好姿勢が強まり、米国金利が上昇したこともカナダの金利上昇圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年11月24日～2017年12月22日)



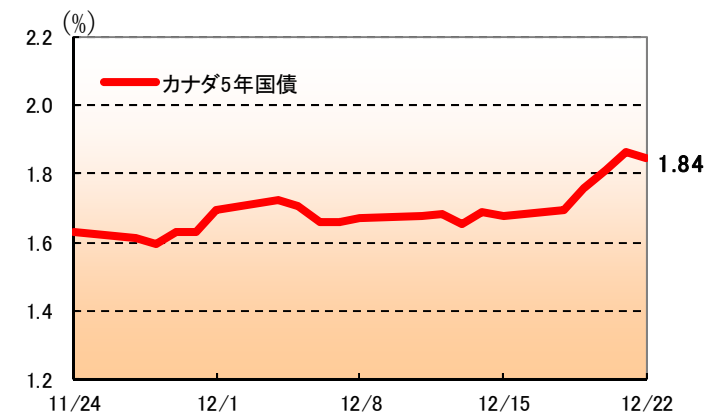
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週、カナダでは特段重要な経済指標の発表は予定されていないことや、年末を控え市場参加者が少ないことなどを背景に、金融市場は方向感の出づらな展開を見込んでいます。

年明け初週は、カナダで雇用統計が発表されます。労働市場の大幅な改善が確認された前回同様、堅調な結果となればカナダの金利やカナダ・ドル円の上昇圧力が高まるとみえています。

【カナダ 金利推移】 (2017年11月24日～2017年12月22日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>